

CREATE!

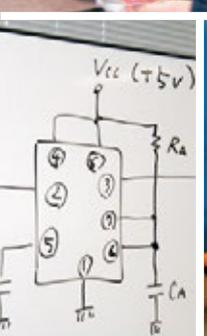
モノづくり 人づくり
確かな知識と技術力を学ぶ

大分県立工科短期大学校

OITA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

本校は「職業能力開発促進法」に基づく職業能力開発短期大学校です

キャンパスガイド



可能性は、無限大。

何度もトライして、その度に検証と反省を繰り返す。

“ものづくり”とは、根気が必要な作業ではあるけれど、

粘り強くチャレンジを続けていると、

自分に足りないもの、必要なものが少しずつ見えてきます。

学校で学ぶ2年間は、あなたの長い人生のほんの一部。

でも、それは社会に羽ばたくためのかけがえのない時間です。

立ち止まったり、悩んだりする時間も、無駄にはならない。

失敗を恐れない勇気があれば、きっと見つかるはず。

今のあなたにしかできないことが——。



大分県知事

広瀬 勝貞

大分県では、皆さんが互いに助け合い、支え合う安心・安全の大分県、いきいきと暮らし働くことのできる活力ある大分県、人を育て、社会資本を整え、発展する大分県を目標にして、県民の皆様とともに夢と希望に満ちた大分県づくりに取り組んでいます。

県内には、鉄鋼、化学、機械、造船、そして半導体といった工場がバランスよく操業しており、近年では自動車や電子機器などの大型企業も立地して、製造業を中心とした産業の集積が進んでいます。県では、本県の持つ底力に一層磨きをかけるとともに、「産業集積の進化と新たなエネルギー施策の展開」・「中小企業の成長・発展に向けた競争力の強化」・「人材の育成と雇用の場の確保」の3つを施策の柱として、新たな産業の育成など産業競争力のさらなる強化を図っています。

大分県立工科短期大学校は、平成10年4月に中津市に開校し、これまで高度な技術と技能を併せ持つ実践技術者を育成してきました。時代の変化や企業の要望に応じて、平成19年4月に従来の4学科制を「3系・7コース制」に再編し、また、平成25年4月には電子システム系を「電気・電子システム系」に改編のうえ、カリキュラムを見直し新たな講義・実習を展開しています。

将来を担う学生の皆さんが、大分県立工科短期大学校において勉学に励み高度な技術を身につけて、産業界を牽引し「活力」ある・「発展」する大分県づくりに貢献されることを期待しています。



大分県立工科短期大学校

CONTENTS

教育方針	03
系・コース構成	04
卒業生メッセージ	05
機械システム系	11
デジタルメカエンジニアコース	13
自動化システムエンジニアコース	15
金型エンジニアコース	17
電気・電子システム系	19
電気エンジニアコース	21
電子エンジニアコース	23
建築システム系	25
プランナーコース	27
施工管理エンジニアコース	29
年間スケジュール	31
在校生からのメッセージ	32
中津エリアMAP	33
キャンパスMAP	35
サポートガイド	37
入学案内	38

EDUCATIONAL POLICY

ココが知りたい！ 工科短大9つのキーワード

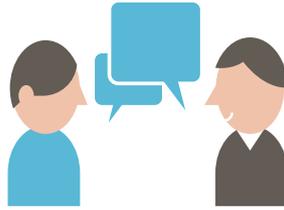
1



即戦力となる人材の育成

技術者として必要な基礎理論の修得に加え、現場で実際に使われる最新機器でさらに実験・実習を重ね、産業界で即戦力となる実践に強い人材を育成します。

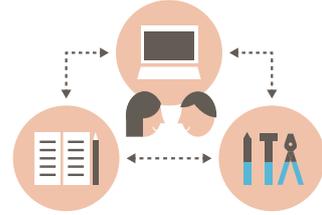
2



能力をのぼす個別指導

実験・実習・卒業研究において、少人数の班編成など個別指導方式を採用。個人能力を重視した、マンツーマンによる密度の濃い指導で、理解力と技術力を高めます。

3



充実したカリキュラム

時代のニーズを的確に捉え、確実に対応していくために、一般教育科目の他、基礎から最先端技術までの充実した独自性の高いカリキュラムを構成します。

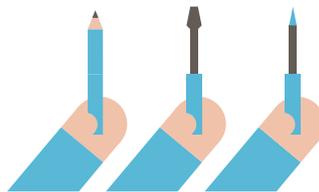
4



資格取得にチャレンジ

就職活動や就職先において、国家資格を取得することは大きなメリットに。工科短大では、カリキュラムやオフィスアワーを利用して、数多くの資格にチャレンジできます。

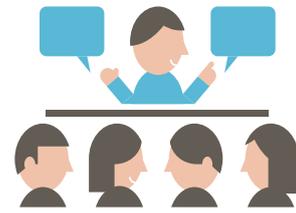
5



テクニカルスキル

基礎から最先端までを学べるカリキュラム構成、各クォーターに集中授業を実施するなど、企業の人材ニーズに応えるためのテクニカルスキルを伸ばします。

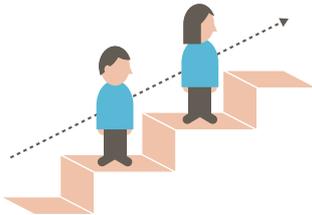
6



ヒューマンスキル

専門的な知識・技術を学ぶだけでなく、企業人として必要な向上心や問題解決能力を、プレゼンテーションやグループ学習などを通じて養います。

7



理解度 UP クォーター制度

数多くの講義・実習を修得するため、1年間を4期(クォーター)に分け、理解度を確認しながら次にチャレンジできる、ステップアップ方式による授業を展開します。

8



最先端機器を使用した授業

産業界の技術革新に対応するため、各分野に最先端機器を導入。ハイエンドな工学専門ソフトを目的や場所に合わせて使用できるネットワーク環境も充実しています。

9

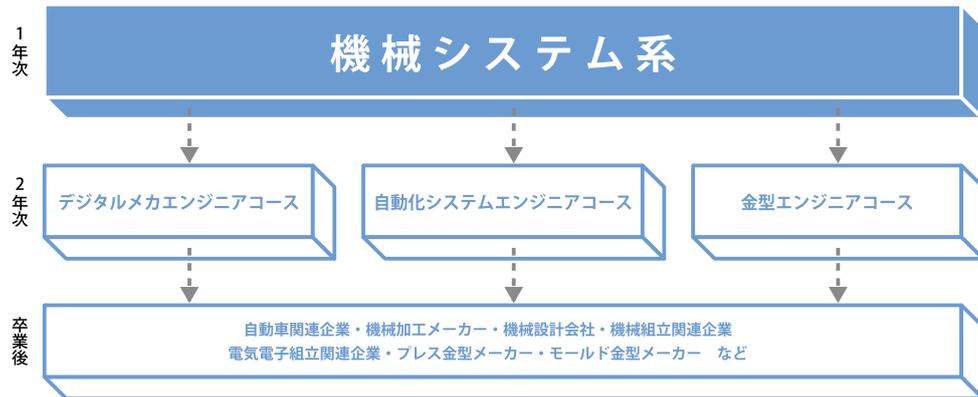


企業人講師による授業

長年、企業の技術分野などで活躍した各分野のエキスパートを企業人講師として招いています。講習会や技術指導を行い、実践的なスキルを学んでいます。

ACADEMIC STRUCTURE

3系7コースで即戦力となる優秀な人材を育成





1

ダイハツ九州株式会社

永石 廣太

Kouta Nagaishi

平成23年度

機械システム系金型エンジニアコース卒



GRADUATE
MESSAGE

Die and Mold Engineering Course

日本の“ものづくり”を支える プロの仕事に誇りを持つ。

ものづくりを一から学ぶ

機械に興味があり、就職するならこんな会社と、ある程度は決めていました。

そこで、もっと専門的な知識を身につけるために、中津にある工科短期大学校を選びました。

ここでは数多くの知識を学ぶ事ができ、2学年のコース選択では、自分の好きな分野を深く学ぶことが出来るので自信を持って講義や実習などを学べました。

各コースの仕事内容を映像で見てかっこいい仕事だと思い、現在の仕事も「金型」です。

機械システム系で学んだ2年間は、機械加工の基本をしっかりと勉強することが出来ました。

私は、現在ダイハツ九州(株)で金型機械加工(MCR)で働いていますが、金型の製作は図面を読み取って加工していくという仕事なので、学校で学んだことはとても役に立っていると思います。

大学で5軸加工機についてとプログラミングの事については、もっと深く知っておけば良かったと反省しております。

毎日の仕事で大事にしている心構えは、「確認」をすることで、作業のミスを無くし、安全を心がけています。

今では後輩にも教えられるようになりました。

プロフェッショナルな 自分を目指して

大分県と工科短期大学校、ダイハツ九州が一体となり金型保全の技術者を育成する講座があり、働く前に実際のものづくりが学べ、すぐ役に立ちました。

今後も、ものづくり日本のため大分県のために、自分のために、金型の仕事に携わっていきたくと思っています。

街でおそらく自分が携わったであろう車を見かけた時、本当にうれしくなります。

休日は、趣味のドライブや魚釣りやショッピングに出かけて楽しんでいます。

将来はみんなから頼られる技能、技術を身につけて、ダイハツ九州のプロフェッショナルとして頑張りたいと思っています。



プレス機を操作し、自動車のドアやボディなどの部品を製作。製品の外観や品質、性能を左右する金型は、製造業において重要な要素だ。



2

大分キャノン株式会社

高木 千穂

Chiho Takagi

平成 22 年度

電子システム系電子回路エンジニアコース卒



Electronic Engineering Systems

楽しみながら学んだ、 ものづくりの魅力。

夢を実現するために

小さい頃から“ものづくり”に興味を持っていて、「将来はカメラに携わる仕事に就きたい、地元のキャノンで働きたい」と強く思っていました。工科短大は企業での即戦力になる技術を学べる学校で、就職率も良いと先輩から聞いていましたし、高度な技術を身に付け、生産を支援する立場に立ちたいという思いもあったので、迷わずココに進学しました。

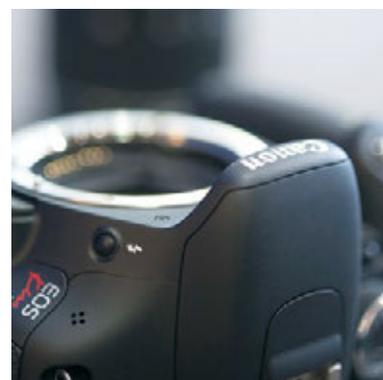
授業は生徒6名に対して1名の先生が指導してくださるので、深いレベルまで勉強できます。また、パソコンが1人に1台支給され、初心者でもすぐに操作を覚えることができるので安心です。パソコンは社会人にとって重要なスキルなので、とても役に立つと思いますよ。

ものづくりの楽しさを実感

学生時代からの希望通り、デジタルカメラの世界トップシェアを誇る大分キャノン(株)に就職でき、現在はQA部に所属

しています。QA(クオリティアシュアランス)は品質保証を行う部署で、部品・ボディ・量産の各セクションに存在します。私は部品QA課で、カメラを組み立てる前の、部品段階での品質保証を行っています。図面通りに部品が仕上がっているか、トラブルなどがいないかを、量産前に確認する重要な作業なので、他の課や他社の担当者との関わりも密接です。コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が大きく問われる仕事ですが、モチベーションの高い仲間達や先生方と過ごした2年間があるからこそ、今の職場で存分に発揮することができていると実感しています。

工科短大は同じ志を持った仲間が周りにいるので、毎日が刺激を受けることばかりです。そして、「楽しみながら、学ぶ」ことで、自分が本当に就きたい職業を見つけることができ、すべてを吸収したいという欲求も自然と生まれます。「ものづくりって楽しい」。心からそう思える、自分自身の“楽しい”を工科短大の2年間でぜひ見つけてください。



細かなキズや不具合がないか、厳しいチェックを何度も繰り返し、品質が保証された部品だけが次の工程へと進むことができる。



3

株式会社 井上建設

坂本 剛寛

Takahiro Sakamoto

平成25年度

建築システム系施工管理エンジニアコース卒



Construction Management Engineering Course

自己実現と利他の心で 日々の仕事を。

やはり工科短期大学校で 良かった!

学校を選んだきっかけは、理想への最短ルートだと考えたからです。

卒業の年に2級建築士の受験資格があることや、卒業後5年後に1級建築士の受験資格があることなどです。また、在学中に施工管理技士の学科受験資格があることや、地場企業への就職が有利なことも選んだ決め手になりました。

またこの短期大学で学んで良かったところは建築業界で最低限必要な知識を習得することができ、実践でとても役にたったことです。

現在、木造専門の工務店に勤務していますが、在学中は木造に限らず、S、RC造についても学び、またゼネコンや設計事務所などの仕事内容もどの様なモノか最低限の学習ができていたので多方面から現在の仕事に取り組めていると思います。

現在の建築業界ではCADからアーキトレンドへ図面の製作ツールの移行が進んでいます。在学中にCAD、アーキトレンドの操作に慣れていたことも強身となりました。

現在の仕事は、主に現場管理です。お施主様と仕様の確定や色彩の選択などの打ち合せ、資

材の発注、工程管理、現場にて納まりの検討、墨付け、刻み用の伏図の検討。また、地場工務店なので現場管理の傍ら新築・リフォームの営業や設計も一部行っています。

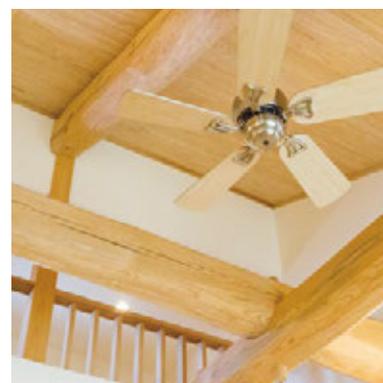
新入社員に求められる考え方、能力として、仕事は自己実現であり、利他の実現でもあると思います。自分さえ良ければよい、自分の利益のみを追求するという考え方は持つべきではないと考えます。

この街をデザインするのは 私たちが!

嬉しかったことは、仕様の選択や色彩の選択などお施主様と共に考えさせて頂き、多くの打ち合いを重ねてようやく完成した住まいの引き渡しは目が潤むほどの嬉しさがあります。

やりがいは、お施主様のニーズやデマンドに少しでも応えられた時です。提案をして、それを気に入って頂き、採用して完成し、喜びの声を頂いた時はとてもやりがいを感じます。

将来の目標としては、お施主様のニーズやデマンドに最大限に応えることのできる建築士になることです。その為に幅広い、奥の深い多くの知識の習得に精進していきます。



多種多様な職種の技術者が集まって建物は完成する。施工管理者は、現場の安全からコスト面、施工方法までを統括する責任ある仕事だ。

“ものづくり”の プロフェッショナルへの道

“ものづくり”の現場は技術標準のレベルアップ、新技術の導入など日々変化しています。だからこそ、技能・技術者は豊富な知識を持ち、あらゆるシステムに精通しなければなりません。機械システム系では、製造業の現場において求められる“ものづくり”を担う人材育成を目指します。1年次では、基本的な機械・電気・情報・制御を総合的に学び、2年次では、より専門性を追求した「デジタルメカエンジニアコース」「自動化システムエンジニアコース」「金型エンジニアコース」の3つのコースに分かれて学びます。そして、総仕上げである卒業研究で、2年間学んだ知識・技術を基に、問題解決能力を育み、就職先の企業で即戦力となれるよう自己研鑽していきます。



機械システム系

Mechanical and Control Engineering Systems

生産現場の最先端で活躍する人材を育成



機械設計 (CAD)

基本的な製図や関連分野の知識を基に機械の設計に取り組みます。1年次では基本である機械製図や2次元CADを通し、製図がしっかり身につくように講義と演習を繰り返します。製図の知識・技術は、将来的にどんな職種(設計・加工・品質管理・保全)においても求められます。



加工技術

“ものづくり”の基本は、自分の手で機械を操作し、作り上げていくことです。1年次では、汎用工作機械(手で操作する工作機械)を使用し、“物を加工すること”から学びます。さらに、最新のNC工作機械(Numerical Control:数値制御)の操作方法やプログラミングを学びます。



測定

ものを作る際には「あと、どれだけ加工する必要があるか」、完成した際には「設計された図面どおりにできているか」を判断します。その重要な技術が測定です。ノギス・マイクロメータなどの基本測定法から、最新の3次元測定機を用いた3次元測定法までの、測定技術を学びます。



電気・電子

工場の設備は、機械だけでは動きません。機械を動かすためには、その動力源となるモータの駆動回路などの「電気」の知識と、機械の動作を検出するセンサなどの「電子」の知識が必要です。機械を学ぶ者にとって、これらの電気・電子の基本的な知識は欠かせない重要な要素です。



制御

工場の機械は、スイッチやセンサで動作を検知し、モータやシリンダなどの機能部品を決まった順序で動かすことで所定の働きをさせます。この一連の動作が「シーケンス制御」です。1年次では、シーケンス制御の基本を学び、制御プログラムの作成まで実習を行います。



情報

機械関連の職場では、報告書をワープロソフトで作成し、データを表計算ソフトで整理して、その結果をプレゼンテーションソフトで発表します。CADなどの専門のソフトの操作を行う際にも、パソコン知識は必要です。実習では基本的な操作方法から応用まで学びます。

2年次



私は、普通科高校の出身だったため、初めは専門の講義についていだけで大変でした。しかし、座学で基本を学習し講義で学んだことを確認しながら実習できるため、自然と技術が身に付いていきます。2年間は短い期間ですから毎日が大変ですが、その充実した学校生活を送ることができます。皆さんも工科短大で、楽しい学校生活を送ってみませんか。
塩田 隆晟さん / 大分県立宇佐高等学校

取得可能資格(受験指導)

- 国家技能検定(汎用旋盤3級、フライス盤3級、機械系保全2・3級、機械検査3級、機械・プラント製図3級、シーケンス制御3級)
- 品質管理検定(QC検定)3級
- 産業用ロボット(教示)特別教育

※工業高校卒業者は、技能検定2級からのチャレンジが可能(出身科による)

めざましく変化する生産現場で活躍できる人材の育成

現代日本の生産技術の現場は、生産形態が大きく変化しています。設計では、従来の2次元CADから、簡単に部品形状の作成や重量が計算でき、組み立てた部品の干渉までもチェックできる3次元CADや、荷重を加えた場合の強度・変形もコンピュータ上で検討できるCAEが使われています。生産現場でも、3次元CADで設計したモデルから、NC工作機械の加工プログラムを自動作成するCAMなど、多くのデジタルツールが使用されています。デジタルメカエンジニアコースでは、これらのデジタルツールと共に、実際の工場で使用されることが多い最新の高精度NC工作機や汎用工作機械、溶接まで幅広く学習し、生産現場に即応できる人材の育成を目指します。



機械システム系

デジタルメカエンジニアコース

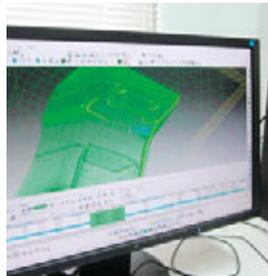
Digital Mechanical Engineering Course

CURRICULUM 専門カリキュラム



CAD/CAM 演習

最新の3次元CADを用いて、自由曲面を含む3次元形状の設計手法を学び、その形状を実際に加工するためのCAMの使用方法を学びます。CAMを活用するためには、工具の種類や加工するための条件を設定する必要があります。実際に加工することによりそれらを身につけることができます。



3次元測定実習

機械の現場では、要求される精度が年々厳しくなっています。その上、出荷の際は製品の精度を保証することが必要ですが、従来の測定法では困難なケースも多々あります。そこで、製品の形状を立体的に測定することが可能な3次元測定機の使用方法を習得し、実践力を養います。



WORKS GALLERY 学生作品紹介

ベーンポンプの設計・製作



3次元CAD/CAM・切削シミュレーション・NC工作機械といったデジタルツールを活用したベーンポンプの設計・製作に取り組みました。パーツを加工し、組み立てる過程において設計変更が必要となり、製品設計の難しさと重要性を学ぶことが出来ました。この経験を進学先や就職先で生かしたいと思います。

(上)伊藤 佳祐さん/国立大分工業高等専門学校出身
(下)後藤 貴裕さん/大分県立安心院高等学校出身



TOPICS トピックス

溶接実習室

溶接は、製造過程だけではなく、施設設備の補修・保全を行う際にも重要な技術です。平成31年3月に完成した溶接実習室には、溶接の基本ともいえる被覆アーク溶接機、造船や鉄鋼業界で良く使用される高効率の炭酸ガスアーク溶接機、アルミも溶接可能で精密な溶接を行えるTIG溶接機と3種類の溶接機を設置したブースを7ブース整備しております。溶接は練習することで上達します。局所集塵機も整備し、安全面にも配慮した施設で練習することにより、就職後活用できる技能を身につけることが出来ると思います。



卒業生の主な入社企業 (50音順)

- JXTGエネルギー(株) ●(株)TF-METAL九州 ●TOTOファインセラミックス(株)
- エステイケイテクノロジー(株) ●大分キャノン(株)
- 大分キャノンマテリアル(株) ●大塚精工(株) ●(株)カンセツ ●(株)九州機設
- (株)京製メック ●(株)スガテック ●(株)住理工九州 ●ダイハツ九州(株)
- (株)東海化成九州 ●東海プラントエンジニアリング(株) ●日産自動車(株)
- 日産自動車九州(株) ●日鉄テックスエンジ(株) ●マレリ九州(株)

取得可能資格(受験指導)

- 国家技能検定(汎用旋盤2級、フライス盤2級、マシニングセンター3級、数値制御旋盤3級、電気系保全3級、機械検査2級、機械系保全2級、機械・プラント製図2級)、アーク溶接特別教育

機械技術と電気・電子技術を 融合できるエンジニアになる

工場では、製品を作るために人手を要しない自動化された生産システムが導入されてきました。自動化により、高効率で大量に安価に、そして均質で高精度な製品の生産が可能になります。生産システムには「機械の知識・技術」を要しますが、それだけでは不十分で、電気・電子・制御などの知識も組み合わせた総合的な技術が必要です。自動化システムエンジニアコースでは、機械を自由自在に動かすために「電気・電子の基礎」をより深く理解し、センサ、アクチュエータなどの「メカトロニクス工学」、工業用コンピュータ(PLC)を用いた「シーケンス制御」について総合的に学び、自動化システムの構築・保守のできるエンジニアの育成を目指します。

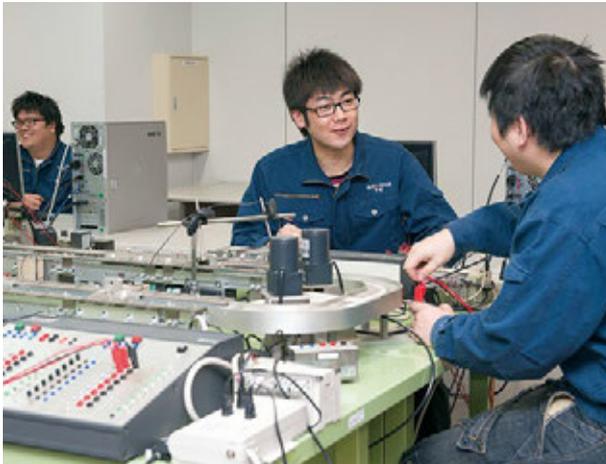


機械システム系

自動化システムエンジニアコース

Automation System Engineering Course

CURRICULUM 専門カリキュラム



メカトロニクス工学

機械を電子制御して思いどおりに動かすことを可能にするメカトロニクスの代表的な例として、産業用ロボットやNC工作機械があります。実験・実習では、光電センサや超音波センサなどの各種センサと、モータや空気圧シリンダなどのアクチュエータを組み合わせた制御方法を学びます。



FA システム実習

FA(Factory Automation)とは、コンピュータによる制御技術を利用し、ロボットなどを用いて工場を自動化することです。実習では、各種センサや油空圧機器、モータなどを組み合わせて、コントローラによるシーケンス制御を行うことにより、工場の生産ラインを自動化する方法を習得します。



WORKS GALLERY 学生作品紹介

ロボットアームの製作

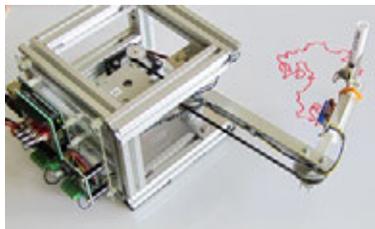


アーム(腕)の動きを制御して絵を描くことのできるロボットアームの製作に取り組みました。アームの構造や駆動方法などを考えて設計し、部品加工・装置組立、制御用のマイコンプログラミングまで、試行錯誤しながら進め、ようやく文字や地図などの図形まで描くことができました。一連の製作工程を体験



し、ものづくりのたいへんさと同時にやりがいや面白さがわかりました。

この経験を就職先の企業で活かしていきたいと思えます。

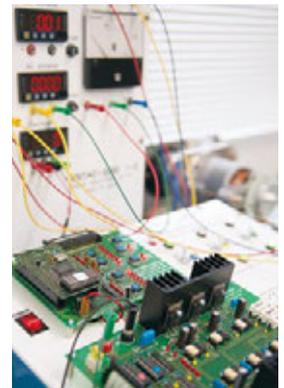


(上)葉真寺 竜一さん／大分県立佐伯鶴城高等学校出身
(下)吉成 明文さん／大分県立宇佐高等学校出身

TOPICS トピックス

モータ制御実験装置

モータは、工場の生産設備の自動化機械、産業用ロボット、あるいはNC工作機械などに多用され、自動化システムには欠かせない動力源となっています。モータには、DCモータやACモータ、ステッピングモータなど、さまざまな特性・種類があります。モータ制御実験装置は、ロータ(回転子)とステータ(固定子)を替えることで各種モータを構成できます。また、実際に構造を見て、動かすことで、それぞれの特性を観測することができます。



卒業生の主な入社企業 (50音順)

- TOTOファインセラミックス(株)
- (株)石井工作研究所
- 出光興産(株)
- 大分キャノン(株)
- 大分キャノンマテリアル(株)
- (株)九電工
- 日産自動車(株)
- 日産自動車九州(株)
- フジテック(株)
- ムラテックメカトロニクス(株)
- マレリ九州(株)

取得可能資格(受験指導)

- 国家技能検定(電気系保全3級、シーケンス制御2級、機械系保全2級)



製品製造の マザーツールをつくる

現在我々の身の回りには、多くの工業製品が驚くほど低価格であります。これは同一の製品を大量に生産できるシステムがあるからです。この大量生産を可能とした技術のひとつが、「金型」です。金型を使用して製品を製造することにより、「低価格」かつ「短い納期」で製品を消費者に提供することができます。また、金型はすべての製品の原型となるため、金型製作には、高精度な部品加工や、それを組み立てるための高い技術力と知識が求められます。金型エンジニアコースでは、現代社会を構成する礎（いしずえ）とも言える金型技術の中でも、最もシェアの大きな技術である「金属プレス技術」と「プラスチック射出成形技術」を身に付け、第一線で活躍する人材を育成します。

機械システム系

金型エンジニアコース

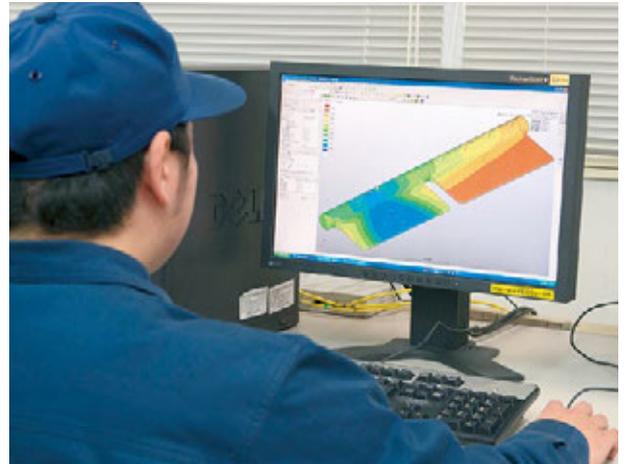
Die and Mold Engineering Course

CURRICULUM 専門カリキュラム



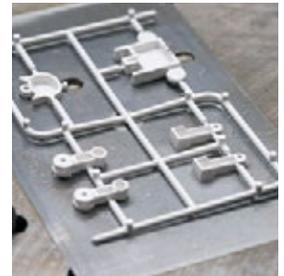
プレス加工

金属を切る、曲げる、変形させることで部品を量産する方法の一つであるプレス加工には、高精度の金型が必要です。プレス金型の設計、製作、プレスによる生産の基本、塑性加工理論を基にプレス技術(各種成形法・金型構造・金型製作のポイント)を学び、実習課題でさらに理解を深めます。



モールド加工

射出成形は、プラスチック(樹脂)を溶かして形をつくり、冷やし固めることで部品を同形に量産する手法です。射出成形には高品位な金型が必要です。講義では、射出成形を利用した生産に必要な知識(樹脂材料・金型構造・成形技術)を学び、実習課題でさらに理解を深めます。



WORKS GALLERY 学生作品紹介

プレス金型の設計・製作



金型製作に携わる中で、3次元CADや色々な工作機械を使用してきました。今回製作したトランスファプレス金型は、組立調整に時間を費やしました。良品を作り出すために修正し調整する難しさを理解することができました。金型から製品ができた瞬間の喜びは忘れられません。将来は、金型保全の仕事に携わる予定です。自分の手で金型の寿命を少しでも延ばせるプロフェッショナルを目指して頑張ります。



(上) 梶原 健汰さん／大分県立宇佐高等学校出身
(中) 川島 雄太さん／福岡県立青豊高等学校出身
(下) 山田 大智さん／大分県立宇佐高等学校出身

TOPICS トピックス

学生金型グランプリへの参加

学生金型グランプリは、“金型”を学ぶ日本、中国の大学生、大学院生が、同じテーマに基づいて製作した金型を展示・発表する国際的なイベントです。出展用金型については、3~4名の学生が、3次元CADや解析ソフトを用いた金型設計から、本校の精密マシニングセンターなど様々な工作機械を用いた金型製作、本校の射出成形機による成形までを取り組みます。工科短大はこのイベントに毎年参加し、2015年の第7回、2017年の第9回、2019年の第11回では、プラスチック用金型部門にて最優秀である金賞を受賞しました。



卒業生の主な入社企業 (50音順)

- (株)イガワテック ●河西工業(株) ●川澄化学工業(株) ●河村化工(株)
- (株)サンテック ●(株)三福 ●(株)秋東精工 ●昭和金属工業(株)
- ダイハツ九州(株) ●(株)高津製作所 ●日産自動車九州(株)
- (株)ヒロテック ●(株)ハウシン ●豊洋精工(株) ●三笠産業(株)
- (株)三井ハイテック ●(株)メイホー ●(株)吉野工業所 ●(株)ヨロス大分

取得可能資格(受験指導)

- 国家技能検定(汎用旋盤2級、フライス盤2級、マシニングセンター3級、数値制御旋盤3級、電気系保全3級、機械検査2級、機械系保全2級、機械・プラント製図2級)
- プレス作業特別教育

時代の先端を走る、 技術者を志す

私たちの生活には、さまざまな電化製品があふれ、それらは急速に進化しています。近年では、省エネルギーに対応した家電製品、電気自動車、太陽光・風力発電など、時代に即した電気製品も著しく発展を遂げています。電気・電子技術は主に、電気エネルギー、電気・電子機器、半導体、ソフトウェア、コンピュータネットワークなどの産業で求められる技術であり、卒業後の進路も幅広く、電気設備、電子回路設計、情報通信、音響映像、半導体製造、コンピュータ技術など、さまざまな分野に活躍するステージがあります。電気・電子システム系では、電気・電子に関する基本的な利用方法や、コンピュータ、測定器の使い方といった基礎力をしっかりと身につけ、最前線で活躍できるエンジニアを育成します。



電気・電子システム系

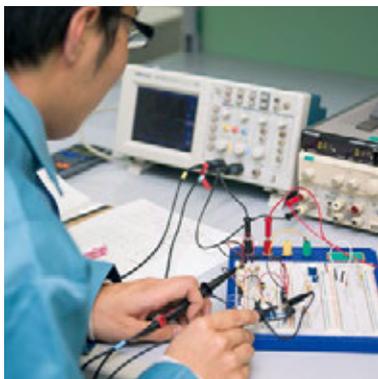
Electrical and Electronic Engineering Systems

スローガンは“つくりながら学ぶ”



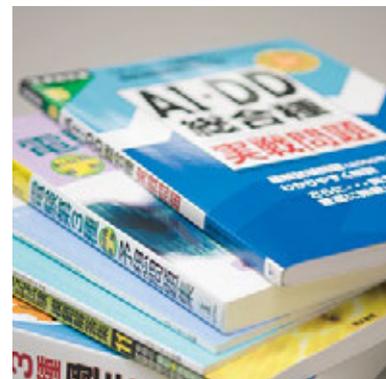
電気の基礎

電気回路や電磁気学等の講義で、電気や磁気、パワーエレクトロニクスの基礎を学びます。実習では、電圧計や電流計を使って、電気の測定方法の基礎や、センサやモータの種類・特性を学び、実践で使える技術を習得します。電気の配線図面も作成します。



電子の基礎

電子回路や半導体の基礎、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、コンピュータネットワークの基礎を学びます。実習では、電子回路の組み立てに必要なハンダ付けの方法を学ぶことで、電子機器を組み立てられる技術を習得します。CADを使った回路設計、基板設計実習も行います。



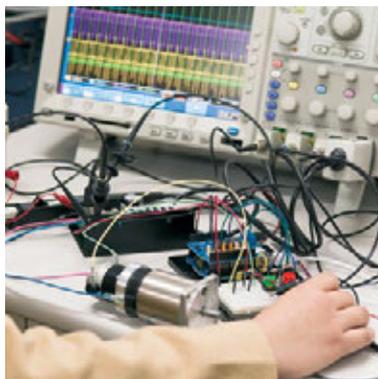
資格取得

学習の到達度を確認する資格、就職の際に必要な資格、就職後に必要となる資格を取得するためのスキルを身につけます。国家資格など、電気やコンピュータネットワークに関連する資格の幅広い分野の受験をサポートしています。資格は、学生のうちに取得しておくことをおすすめします。



回路設計

電子回路を製作するには、まずコンピュータ(CAD)で目的に合った電子回路を設計します。講義で身につけた知識や回路の動作・特性を考慮しながら、回路を設計していきます。完成した回路は、シミュレータソフトウェアを使用して、設計手順や機能性に問題がないかなどをチェックします。



動作テストと評価

設計した回路基板上に、配線ミスやハンダ付け不良がないか、チェックします。次に、設計通りに動くかオシロスコープなどの測定機器を用いて解析します。企業で実際に使われている機器や装置で動作テストや評価をするため、より実践的な経験を積むことができます。



産業用ロボット実習

生産工程の自動化・無人化が進む中、産業用ロボットは工場に欠かせないものとなっています。実習では、実際の工場で使用されているロボットを用いて、ロボットの操作を学ぶことができます。また、在学中に特別教育(教示)を修了することができるので、就職後すぐに活躍できます。

2 年次



高校が普通科だったので、専門的な知識を学ぶために工科短大に入学しました。電気・電子システム系では電気・電子・情報の基礎から分かりやすく先生が教えてくれるし、わからないことがあれば気軽に先生方に聞きに行くことができます。勉強面だけでなく、就職活動のサポートも充実しているので、なりたい自分になれる学校だと思います。

川面 翔太 / 大分県立安心院高等学校出身

取得可能資格(受験指導)

- 第2種電気工事士
- コンピュータサービス技能評価試験(表計算部門)
- 国家技能検定 電気機器組立(シーケンス制御)
- ITパスポート試験
- 工事担任者
- デジタル技術検定3級
- 第3種電気主任技術者

時代のニーズに即した 技術者に

太陽光発電や風力発電など、時代のニーズに沿った自然エネルギーの仕組みを幅広く習得し、省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用、それら設備の改善ができる技術者を育てます。また、工場内設備の電気設計や保守、配電盤、制御盤の設計、製作など、工場内の電気全般に関わる業務や、コンピュータネットワーク化された設備の保守・管理まで行える、情報技術に強い電気エンジニアを育成します。電気設備の設置や電気工事に必要な電気工事士、ネットワーク設備工事に必要な工事担任者、電気設備の維持・メンテナンスに必要な第3種電気主任技術者の資格取得を到達目標とした受験指導も行います。また、電気機器組立の国家技能検定試験にも挑戦します。



電気・電子システム系

電気エンジニアコース

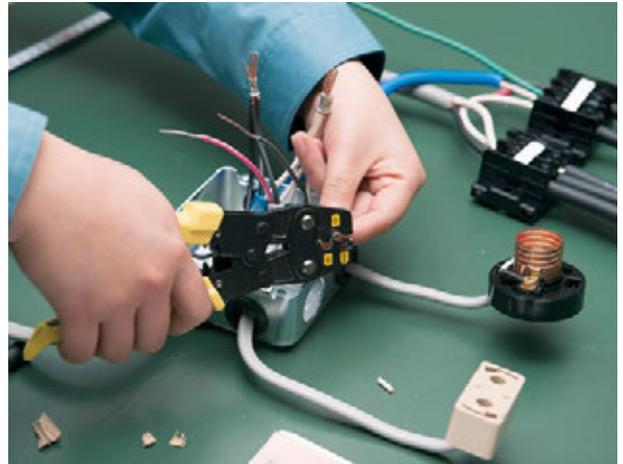
Electrical Engineering Course

CURRICULUM 専門カリキュラム



電気機器実習

工場の電気設備や電気自動車、空調機器などに使用される電気機器（モータ）の運転制御方法、電気機器の保守・点検で使用する各種計測機器の使用方法、電気機器特性の計測方法、直流電動機のフィードバック制御、PLCによるサーボモータの位置決め制御、誘導電動機のインバータ制御を学びます。



電気設備実習

電気設備の工事や保安全管理を行うための技能を習得します。実習を通して各種工具の使い方、配線や器具の接続方法、計測機器の使い方を学びます。一般住宅や店舗などの600ボルト以下で受電する設備の工事に従事する第2種電気工事士の技能試験に合格することを目標としています。



WORKS GALLERY 学生作品紹介

エレベーター模型の製作



昨年度製作されたエレベーター模型を、より本物の動作に近づけることを目標に製作を行いました。実際のエレベーターの動作を調べ、駆動方式について式を採用しました。昨年度は扉に手をはさまないように光電センサで物体を検知して、扉の開閉制御をしていましたが、光電センサでは未検出部分があり不完全でした。そこで、検出部分をスイッチ式に変更し、未検出部分をなくす工夫をしました。また、開閉制御をマイコンで行うことで、より本物に近い動作をする模型の製作ができました。シーケンス制御だけでなく、センサやマイコンの知識を身に付けることができました。



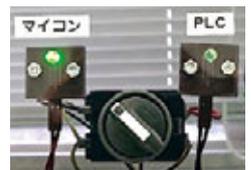
(左) 昨年度 (右) 今年度

(上) 藤原昂汰さん/大分県立大分工業高等学校出身
(中) 三浦湧斗さん/未来高等学校出身
(下) 山本和真さん/大分県東明高等学校出身

ラムネ菓子自動販売機模型の製作



学校ではPLCとマイコンの2つの制御機器について学習してきました。それぞれの制御機器の特徴をつかむために、同一の機能を2つの制御機器で実現させて比較を行うことを考えました。そこで、PLCとマイコンでそれぞれ制御を行う、ラムネ菓子自動販売機模型の製作を行いました。模型の制御方法は切替スイッチでPLC制御とマイコン制御のどちらかを選択することができるよう製作しました。その結果、それぞれの制御での特徴、長所や短所を改めて知ることができました。私たちが製作した模型で、PLCとマイコンの知識をさらに深めてくればと思います。



(上) 奥田雪乃さん/大分県立高田高等学校出身
(中) 鈴川元太さん/福岡県立青豊高等学校出身
(下) 山田陸斗さん/大分県立大分南高等学校出身

卒業生の主な入社企業 (50音順)

- JXTGエネルギー(株)
- (株)TF-METAL九州
- 兎塚電気工事(株)
- (株)オモテ
- 河野電気(株)
- 九州市光工業(株)
- (株)住理工九州
- 西部電機(株)
- ダイキン工業(株)
- (株)テクノクリエイティブ
- トヨタ自動車九州(株)
- (株)日南
- 半田電設工業(株)
- 藤工業(株)
- フジテック(株)
- (株)ブライテック
- マレリ九州(株)
- ムラテックメカトロニクス(株)
- (株)大和電業社
- ルネサスエレクトロニクス(株)

自転車用バーサライタの製作

自転車の後輪にバーサライタ基板(縦一列に並んだLEDを回転させ、あるパターンで点滅させることで文字や図形を表示する装置)を取り付けました。基板には回転位置がわかるように磁気センサをとりつけ、LEDの点灯制御はマイコンで行いました。





電子技術の最先端をマスター

デジタルカメラやスマートフォンなど、私たちの生活に関係する製品のほとんどに電子回路基板やマイコンが組み込まれています。電子エンジニアコースでは、アナログ・デジタル電子回路の設計からプリント基板製作、動作解析までの一連の流れを総合的にマスターします。半導体デバイスの品質評価・解析、各種コンピュータ技術を駆使した“ものづくり”ができる次世代のエンジニアを目指します。また、制御装置の製作や、自分で開発したソフトウェアの動作テスト、電子回路におけるハードウェア技術などを学ぶと同時に、ネットワークの設定状況のテストなど、情報処理を中心としたソフトウェアの実用的なスキルも習得していきます。

電気・電子システム系

電子エンジニアコース

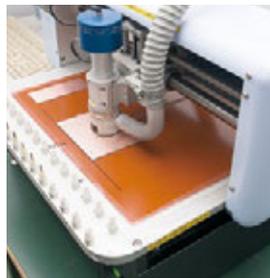
Electronic Engineering Course

CURRICULUM 専門カリキュラム



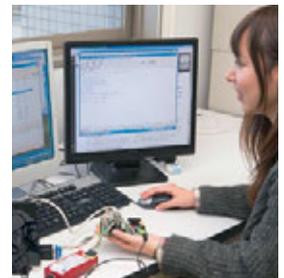
電子回路製作実習

アナログ・デジタル回路の基礎知識を活用し、より高度な電子装置の回路を設計します。また、装置を実現するためのプリント基板のパターン設計や加工を行い、実際に電子部品を実装し完成させます。完成した装置が、設計仕様通りの動作をするか各種測定器を使ってチェックし、解析します。



ネットワーク実習

IT技術の国家試験である“ITパスポート試験”、設備工事に必要な“DD1種工事担任者”の知識を得るとともに、専用のネットワーク環境を利用して、OSのインストールから、ネットワークシステムを構成するサーバの設定や組み込み機器のネットワーク制御等、実学一体のスキルを習得します。

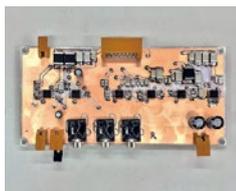


WORKS GALLERY 学生作品紹介

イコライザアンプの製作



イコライザアンプを製作し、スピーカーと液晶表示によって出力するようにしました。入力音声は有線と無線(Bluetooth)のどちらでも対応できるようにしたり、出力も超音波を使用するパラメトリックスピーカーを採用するなど、新しいことに挑戦しました。出力音声も期待した通りに得られたので、満足のいく卒業研究でした。パンフレットでは音を届けることはできませんが、私たちが製作した作品はオープンキャンパスで展示されると思うので、是非実際の音を聞きにきてください。※イコライザ：音声信号の周波数特性を変更する音響機器のこと



(上) 今永正和さん／大分県立宇佐高等学校出身
(中) 高田友斗さん／大分県立玖珠美山高等学校出身
(下) 田中智士さん／福岡県立青豊高等学校出身

農業用環境計測システムの開発

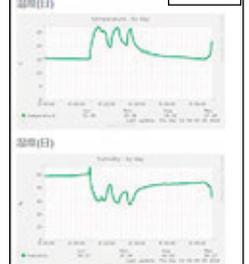


スマート農業を実現するために、測定した環境情報(温度・湿度・気圧・照度・二酸化炭素濃度・肥料濃度)をWebブラウザ上から閲覧することのできるシステムを開発しました。農業の「経験や勘」に頼っていた部分をデータ化・見える化して、農業初心者でも熟練者と同様の収穫ができるようになることを期待しています。私たちが製作したシステムは、農家の方に協力していただいて実際に使用してもらい、データを収集しています。今後は収集したデータを基に後輩たちがよりよいシステムを作ってくれることを願っています。

製作した機器



Web画面



(上) 堤信登さん／大分県立大分工業高等学校出身
(中) 友岡俊也さん／大分県立杵築高等学校出身
(下) 森松聖司郎さん／明豊高等学校出身

卒業生の主な入社企業 (50音順)

- TOTOファインセラミックス(株) ● (株)アイ・ネット ● (株)エイジェック ● (株)エリア
- 大分キヤノン(株) ● 大分キヤノンマテリアル(株) ● 九州河西(株)
- (株)京製メック ● ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
- (株)テクノプロ ● (株)デンケン ● 日本たばこ産業(株)
- パナソニックコンシューマーマーケティング(株) ● (株)日出ハイテック
- 豊前東芝エレクトロニクス(株) ● 不動設計(株) ● (株)メイテックフィルダーズ
- 柳井電機工業(株) ● (株)ヤマサキ

競技会に参加

■ ポリテックビジョンin北九州

ロボットが、定位置にセットされたピンポン球を指定された場所に格納するロボット競技(主催：九州職業能力開発大学校)



人々の暮らし、地域・社会を支える、建築のプロフェッショナルになる

建築は、工学の世界にとどまらず、人の暮らしや地域の風土、文化と密接に関わっています。だからこそ建築物をつくるには、建てる場所や環境、材料、構造、費用、暮らす人の要望など、さまざまなことを理解し、自らの持つ技術、知識、経験、感性などを駆使し、カタチにしていく必要があります。建築が生み出すものは大きく、長く、重い。それだけに、人々の暮らしや社会に与える影響は大きく、作り手の社会的責任は非常に大きいといえます。

建築には、建築計画、建築生産、建築環境、建築構造の4つの専門分野があり、それらの基礎から最新の技術までを、講義と実習を組み合わせたカリキュラムで学習し、将来建築のフィールドで活躍できる人材を育成しています。



建築システム系

Architecture Systems

建築の基礎から最新技術までを学ぶ



建築計画

建築をつくる上では、解決すべき条件を抽出・整理し、問題解決を図る力が必要とされます。「建築計画」では住宅をはじめとした各種建築について具体的な事例を取り上げながら、利用者はもとより環境や社会のことに配慮し、設計や生産に結びつけるための基本知識を学びます。



建築構造

人々の暮らしを守る建築物を支えているのは骨組です。建築物には地震や台風などの荷重が作用しますが、これらの自然災害に対して骨組が壊れることなく安全に建っていないことはありません。「建築構造」では建築物の安全性を実現するために必要となる、構造力学や構造設計について学びます。



基礎製図・建築設計

「基礎製図」では建築図面を描く上での基本的ルールを学び、確実に情報を伝えられる図面を作成する力を養います。「建築設計」では住宅などの設計課題を通し、条件を整理し、アイデア展開を行い、最終的に生産に結びつく設計図書の作成のしかたや空間をイメージする力を養います。



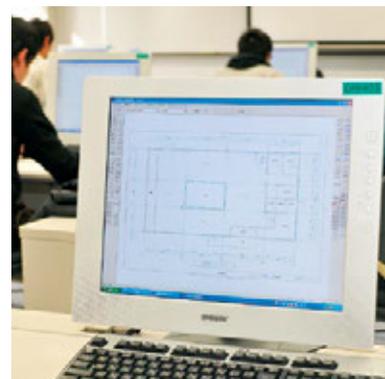
建築生産

建築物には木造や、鉄筋コンクリート造、鉄骨造などがあり、種類が違えば施工方法も違います。品質の良い建築物を造るためには、その施工方法を理解しておく必要があります。「建築生産」では模擬家屋の製作、鉄筋や型枠、コンクリート工事などの実習を通じて建築物の施工方法を学びます。



建築環境

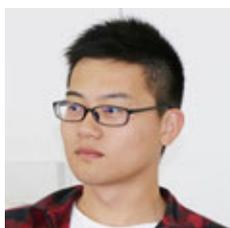
「建築環境」では快適な室内環境をつくり出すために気候、熱、空気、光、音などの環境要素を取り上げ、基本知識を学びます。また実験を通して基本的な測定方法や評価方法について学び、データを分析し、考察を行うことで問題解決を図る力を養います。その上で計画や設計の分野につなげていきます。



建築 CAD 実習

建築設計のためのツールとして建築CADの操作方法を学び、2次元図面の作成の仕方を身につけていきます。製図法に従って、効率よく正確な図面作成ができるよう繰り返し演習を行っています。また、3次元CADへの理解を深め、様々なプレゼンテーションの手法を学びます。

2 年次



建築システム系では校外見学や施工実習といった授業も多く、とても実践的です。校外見学で学んだことを実習に活かすことができ、現場での知識・技術が身につきます。また、皆で一つのモノを作り上げていく楽しさや大切さを知ることができました。将来は一級建築士を取得し、高い目標を持ち様々な現場で活躍できる技術者として、頑張りたいと思っています。

茂呂田 睦史 大分県 安心院高等学校出身

取得可能資格(受験指導)

- 福祉住環境コーディネーター(2級)
- 建築CAD検定(2級)
- ワープロ技士、表計算技士
(コンピュータサービス技能評価試験 3級・2級)

企画・提案力に強い プランナーを養成

これからの建築業界では、環境への配慮や社会システムの変化、多様化するライフスタイルに目を向け、対応を図ることが求められています。プランナーコースでは、コストを意識しながら基本計画から設計図書作成に至る一連の建築設計プロセスを学んでいきます。課題設計の中ではシミュレーションツールを駆使しながら心理的要素に配慮し、嗜好に合わせたカラーやインテリアのアイテム、素材を組み合わせ居住空間を提案するコーディネートの手法を学んでいきます。また、製作の節目毎にプレゼンテーションを重ねることで、自分の考えを相手に伝え、また相手の考え方も理解するコミュニケーション力を養う機会を設定しています。



建築システム系

プランナーコース

Planner Course

CURRICULUM 専門カリキュラム



住宅プレゼンテーション実習

設計は施主の要求を的確に捉え、デザインする力が求められると同時に、提案の主旨や内容を相手に伝え、理解を得る能力が必要です。実習では、施主とプランナーという立場を設定し、プレゼンテーションボードやデジタルツールを駆使して、実務的な問題解決型のプレゼンテーションの技法を学びます。



インテリアエレメント

内装材や家具、照明など、住空間を構成する要素を、居住者の嗜好や生活スタイルを把握しながら、トータルに考えていくことが大切です。インテリアエレメントでは、インテリアの各要素の組み合わせ、効果的な演出の仕方を図るための演習を行い、コーディネートの基本を学びます。



WORKS GALLERY 学生作品紹介

「COTORI」の環境改善案と制作



学生の休憩スペース「COTORI」がさらに利用しやすい場所となるように、1人用カウンターテーブルとカウンターチェアを4セット制作しました。使用しない時はコンパクトに収納できるように折り畳み式とし、チェアは「COTORI」の雰囲気合うように柵をモチーフにしたデザインとしました。また、1人ずつ荷物が置けるようにロッカー形式の収納棚を制作し、扉は中身が見えるようにアクリル板としました。この卒業研究を通じて、制作物を企画から制作まで行う事でアイデア展開の手法を学べ、加工方法を向上させることが出来ました。



(上)池田 日和さん／大分県立大分商業高等学校出身
(中)金山 奈々実さん／大分県立中津東高等学校出身
(下)渡辺 桃香さん／福岡県立八幡中央高等学校出身

卒業生の主な入社企業 (50音順)

- (株)TOP HOME ●Y.O 設計 ●(株)池下設計
- (株)栄都 ●倉敷匠会 ●(株)坂井建設
- (株)サンテック九州 ●(株)シアーズホーム
- (株)住研 ●(株)大有設計 ●三越商事大分(株)
- 森田建設(株)

TOPICS トピックス

建築設計コンペティションへの参加

建築システム系プランナーコースでは、建築や環境のことについてよく考え、また地域に根ざした設計に取り組む機会を得るために、建築関係のコンペティションに積極的に参加しています。与えられた条件をしっかり受けとめ、仲間とともに試行錯誤しながらアイデアを展開するプロセスを学び、自分達の考え方を伝えるために工夫を凝らしたプレゼンテーション作品をつくりあげていきます。悩み苦勞するほどに大きな達成感を得ることが出来ます。



取得可能資格(受験指導)

- 宅地建物取引士
- 福祉住環境コーディネーター(2級)
- 建築CAD検定(2級)

卒業後取得可能資格

- 建築士
※1級・2級ともに卒業後に受験資格が得られます。建築士免許は、2級は試験に合格すると取得できますが、1級は試験に合格し、かつ、4年の実務経験を積んだ後に取得できます。
- 施工管理技士
※2級は卒業後2年の実務経験を、1級は卒業後5年の実務経験を積んだ後に受験できます。

※施工管理技士は、建築・土木・管工事・電気工事・建設機械・造園のいずれの資格も取得可能です。

現場の責任者である、 ということ

建築工事は、測量を含む建築の事前調査に始まり、土工事から基礎、躯体、仕上げ、設備など、建築物が出来上がるまでにはさまざまな工事が行われます。また、工事は職種の異なる多くの人々によって同時並行的に行われるため、多種多様な人たちと関わり合い、また、多くの人たちと協力して工事をスムーズに進め、かつ、“良いもの”をつくりあげていきます。施工管理エンジニアコースでは、それぞれの工事に関する専門的知識を身に付けるほか、品質・工程・安全・コストなどに関する管理手法や工程表の作成方法、建築工事で必要になる施工図の作図法や読図法などを習得し、建築現場で活躍できる施工管理エンジニアを育成しています。



建築システム系

施工管理エンジニアコース

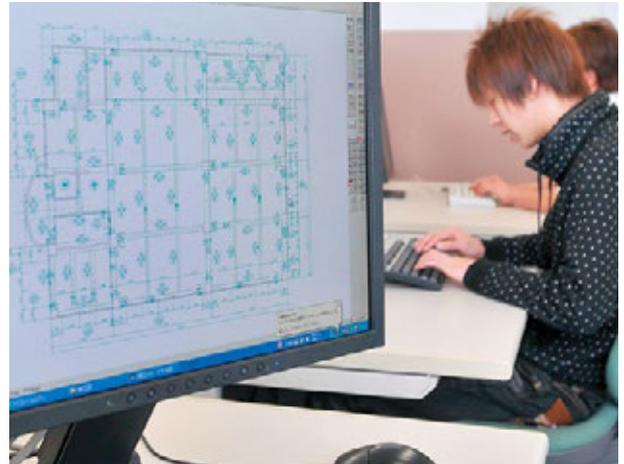
Construction Management Engineering Course

CURRICULUM 専門カリキュラム



工程管理

契約工期内に工事を完了するためには、契約の段階から着工、そして竣工までの期間、計画通りに工事が進行しているかを常に把握し、工程を管理することが求められます。講義では、建築工事工程表の作成を通じて、工程管理の重要性、工程と原価管理および労務管理の関係について学びます。



施工図作成

建物は設計図だけではできません。実際に製作するための図面・施工図が必要です。鉄筋コンクリート工事で代表的なコンクリート躯体図の作成を通して、設計図（意匠図、構造図、設備図）と、実際に建物を建てる作業の手順や職種の異なる工事の関連について学びます。



WORKS GALLERY 学生作品紹介

実習用家屋の建設

前年度に、既に骨組みや屋根工事を終えていた木造2階建実習用家屋の製作を継続し、外壁・内壁・樋・階段・天井の各工事をを行い、完成させることを卒業研究テーマとしました。外壁は湿式工法のモルタル塗りは天候や気温により作業できない日があり、工程より遅れてしまいました。乾式工法の杉板縦張りは杉板の加工が大変でしたが、一度張り始めるとスムーズに進めることができました。製作を通じ、湿式工法の工程計画を立てることの難しさを経験することができました。



TOPICS トピックス

宇佐市の戦争遺跡の調査

大分県宇佐市には、第二次世界大戦当時にあった宇佐海軍航空隊に属するいくつかの施設が廃墟の状態に残されています。その一つである「レンガ建物(落下傘整備所)」の建物調査に参加した学生2名は、戦争遺跡の調査を卒業研究のテーマとして取り組みました。設計事務所との合同の現地調査、航空隊施設に関する文献調査、役所や関係者へのヒヤリング、実測調査に基づいた図面作成など建築の知識を深めると同時に平和を考えるうえで貴重な体験ができたと思います。



- 卒業生の主な入社企業 (50音順)**
- (株)井上建設 ●上村建設(株) ●(株)奥田組
 - (株)川口建設 ●(株)九州みらい建設グループ
 - (株)佐伯建設 ●昭栄建設(株) ●伸和建設(株)
 - (株)菅組 ●(株)西建設 ●西日本土木(株)
 - 二豊土建(株) ●(有)北斗建装 ●松山建設(株)
 - 森田建設(株) ●豊建設工業(株) ●大和開発(株)
 - (株)和田組

- 取得可能資格(受験指導)**
- 2級建築施工管理技術検定 (学科のみ)
 - 建築CAD検定(2級)

- 卒業後取得可能資格**
- 建築士
 - ※1級・2級ともに卒業後に受験資格が得られます。建築士免許は、2級は試験に合格すると取得できますが、1級は試験に合格し、かつ、4年の実務経験を積んだ後に取得できます。
 - 施工管理技士
 - ※2級は卒業後2年の実務経験を、1級は卒業後5年の実務経験を積んだ後に受験できます。

※施工管理技士は、建築・土木・管工事・電気工事・建設機械・造園のいずれの資格も取得可能です。

SCHEDULE

コウカタンで過ごす2年間は、トコトン充実、自由度120%!

4月	<p>入学式</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ●学生金型グランプリ 		QUARTER ①
5月			
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●期末試験 		
7月	<p>オープンキャンパス (1)</p>		QUARTER ②
8月	<p>夏休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若年者ものづくり競技大会 <p>オープンキャンパス (2)</p>		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●期末試験 ●インターンシップ 		
10月		 	QUARTER ③
11月	<p>大分県技能祭</p> <p>昂華祭 (学園祭)</p>		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●期末試験 <p>冬休み</p>		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●業界研究セミナー 	 	QUARTER ④
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●ポリテックビジョンin北九州 ●期末試験 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●業界研究セミナー <p>卒業研究発表会</p> <p>卒業式</p> <p>春休み</p>		



入学式: “ものづくり”の楽しさを学ぶ2年間がスタートする日。夢の実現への入口へようこそ。



オープンキャンパス: コウカタンの生の雰囲気を感じてもらおうオープンキャンパス。



昂華祭 (学園祭): 毎年11月に開催。コウカタンならではの体験教室やイベントが盛りだくさん!



卒業研究発表会: 各自でテーマを設定し、学んだ技術、知識を存分に発揮した卒業研究を発表。



卒業式: 2年間の学校生活を終えて、いよいよ卒業式。将来のプロフェッショナルが旅立ちます。

REAL VOICE

コウカタン生の“生の声”を、皆さんへをお届けします！

まじめにコツコツ勉強して、
将来に生かしたいな。



安部 奈津海
機械システム系

コウカタンには
いろんなタイプの人があります ^0^



菊池 杏香
建築システム系

後悔しないように、
全力で学び、全力で遊ぶ！



後藤 佑太
電気・電子システム系

就職率ほぼ 100% !



岡村 優也
電気・電子システム系

フィールドエンジニアとして、
人々の役に立ちたい。



佐藤 龍児
電気・電子システム系

周りの仲間はみんな
頭が良くて、
とてもマジメだ。



赤 広大
建築システム系

シーケンス制御実習、
サイコー！



三代 統也
機械システム系

自分の手で
ネットワークを制御する。



松本 亮士
電気・電子システム系

地元に着した環境が
心地いい！



北村 早晴佳
建築システム系

専門的な知識が
短期間で身につくんです！



石川 昂輝
機械システム系

構造建築士の資格を取って
バリバリ働く！



於久 成希
建築システム系

プログラミングは
パズルを解く感覚。



岡田 直輝
電気・電子システム系

必要とされる
技術者になりたい！



江藤 利貴
電気・電子システム系

人を楽しませるモノが
つくれますように…



松下 陸
機械システム系

父親のような
設計者になりたい。



野末 駿裕
建築システム系

電子ってかっこいい！



兒玉 幹輝
電気・電子システム系

勉強も遊びもバランス良く
充実させたいなあ。



田畑 健
機械システム系

模擬家屋づくりが
楽しかった。



益戸 悟
建築システム系

金型の仕事に携わる
技術者になりたーーい！



村上 大季
機械システム系

先生も仲間も
おもしろい☆



安藤 佳音
建築システム系



A ゆめタウン



B ジョイフル



C TSUTAYA



D マクドナルド



E WASHハウス



F マルミヤストア



G コスモス



H フレスポ
(ABCマート、ユニクロ)



I ニトリ



J ヤマダ電機



K さくらボウル



L ブックオフ



M ガスト



N 中津市民病院

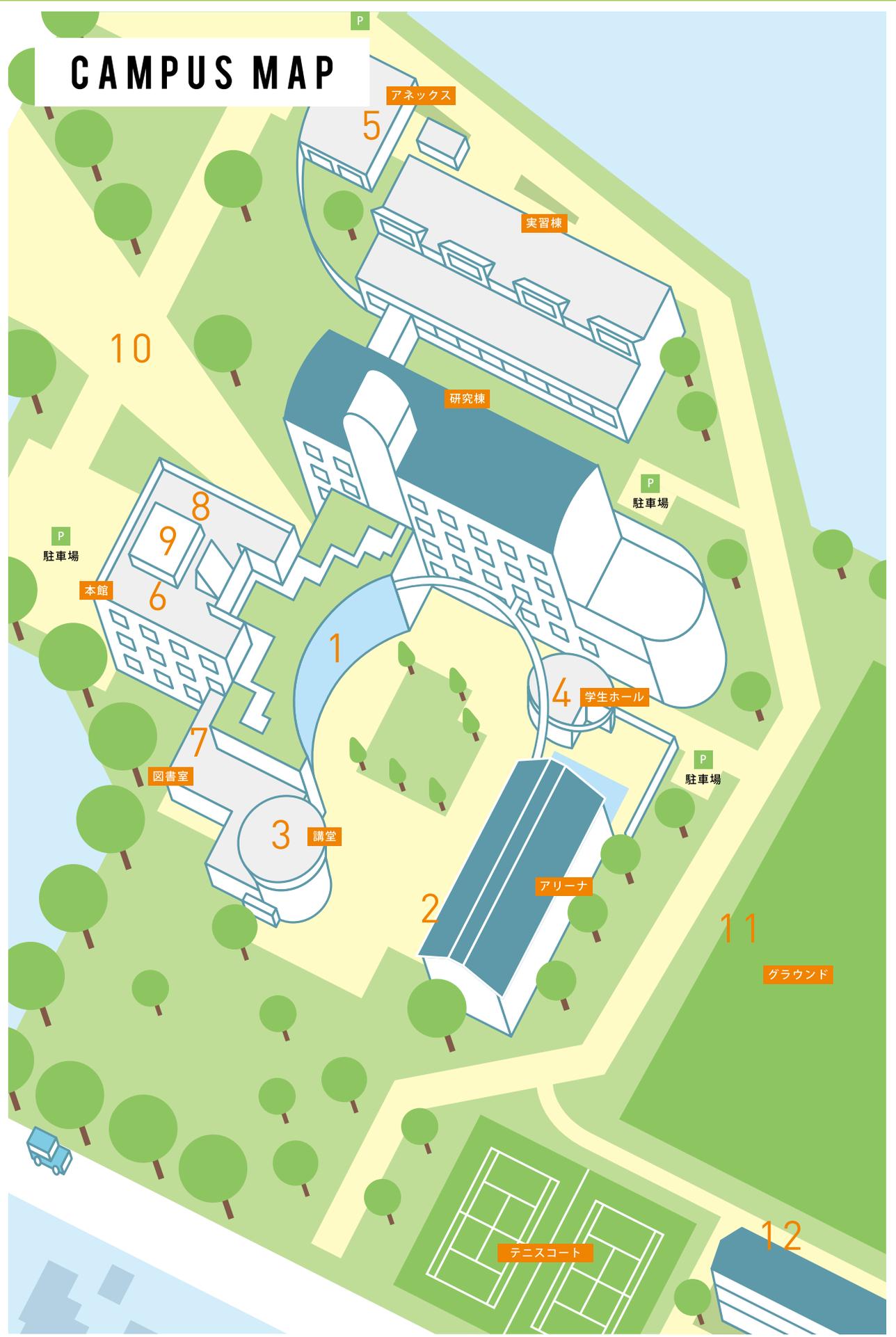


O トライアル



P モスバーガー

CAMPUS MAP





1 エントランスロビー
 自然光が降り注ぐエントランスロビーでは、卒業生の研究資料や製作物などを展示。談話スペースもあります。



2 アリーナ
 バレーボールやバスケットボール、卓球、バドミントンなど、各種スポーツが楽しめます。シャワー室も完備。



3 講堂
 入学式や卒業式、卒業研究の発表会や講演会など、さまざまな目的で活用されています。



4 学生ホール
 飲食可能な憩いのホール。



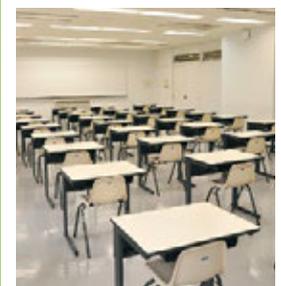
5 アネックス
 実習室や教室があり、学校行事・講義・企業研修など、さまざまな目的で活用されます。



6 情報処理室
 本館3Fにあり、基本的なソフトやシミュレーションソフト、最先端の設計CAD等を利用することができます。



7 図書室
 蔵書数は約2万冊。一般書籍から、機械・電気電子・建築に関する専門書、洋書まで、幅広く揃っています。



8 講義室
 本館2Fと研究棟に、全部で7室あります。基礎科目や専門科目の講義を受けるときに使われます。



9 エントランスホール
 本館1Fの吹き抜けの空間に、校舎の全体模型などを展示しています。



10 アプローチ
 入口に設置されているモニュメントは、県内在住の彫刻家、辻畑隆子さんの作品です。



11 グラウンド
 芝生のグラウンドでは、体育の授業はもちろん、サッカーなどのサークル活動にも使われています。



12 学生寮
 キッチン・バス・トイレを完備した1K個室タイプの学生寮(寮費は9,500円/月)。

SUPPORT

コウカタンは、入学から就職まで全力でサポート！



学生寮



学校の敷地内にある1K個室タイプの学生寮は、キッチン・バス・トイレを完備。部屋は全21室、うち1室は身体障がい者向けとなっています。寮費は、月額9,500円で、実家が遠方にある学生も快適で便利な環境で学生生活を送っています。毎年入居希望者が多く、大変好評です。また、近郊にはスーパー・コンビニ・ホームセンターなどもあり、初めての一人暮らしも安心です。



寄宿料

●月額：9,500円

入学料・授業料



入学料は、県内生102,000円、県外生169,200円で、授業料は、年額390,000円となっています。

安心して学生生活を送るためのバックアップや授業料減免制度もあります。問い合わせは、学生支援班まで。

合同企業説明会



学外での合同企業説明会に参加するとともに、毎年1月末、本校で合同企業説明会を開催しています。県内外から多くの企業の採用担当者や本校OBが来校され、企業の生の声を聞くことができる絶好の機会となっています。本格的な就職活動がスタートするのは、この日からです。



進学



本校は「職業能力開発促進法」に基づく職業能力開発短期大学校です。卒業後、学校教育法に基づく大学の3年次に編入学することはできませんが、入校試験を受け、職業能力開発大学の応用課程に進学することができます。

同窓会



工科短大卒業生の親睦組織で、平成24年11月に設立しました。会員数は1,462名を超え、広報紙の発行や総会・懇親会等会員のつながりを深める活動に取り組んでいます。

奨学金制度



厚生労働省の技能者育成資金融資制度を利用できます。優れた技能者を育成するための一助として、成績が優秀であるにもかかわらず、経済的に就学困難な学生を対象とした融資制度です。融資上限額は、自宅通学で年額50万円＋入学料、自宅外通学で年額59万円＋入学料。入学料は1年次のみ。返済は、卒業後に分割して行うことができます。

融資上限額

- 自宅通学：500,000円＋入学料
- 自宅外通学：590,000円＋入学料

融資金融機関

全国の労働金庫

就職サポート



学生一人ひとりに最適な就職先を開拓するため、就職担当教員が親身になって、内定までサポートします。また企業連携・交流室が中心となり、就職対策セミナー等を実施します。企業ニーズを把握・分析しながら学生の就職活動を積極的にアシストします。また、数多くの就職情報を学生が活用できる学生相談室があります。平成10年度の開校以来、就職率は毎年度ほぼ100%を達成しています。



インターンシップ



1年次に全学生が体験する企業実習です。実際の「ものづくり」の現場や社会のルール、働く意義などを就業体験を通じて学び、職業人・社会人になることを自覚し、将来の就職選択に生かします。

後援会



在校生の保護者会です。就職活動の支援・福利厚生事業の実施・自主的活動（サークル・競技会参加など）の援助を行っています。保護者あての広報紙を定期的に発行しています。



ADMISSION INFORMATION

入学案内

本校の教育目的と教育理念

本校は、大分県産業界で活躍する優秀な工科系人材を教育訓練する短期大学校として、毎年高い就職率を達成し、今日に至っています。また、企業側が求める技術力(テクニカルスキル)と人間力(ヒューマンスキル)を併せ持った人材を育成するため、平成19年度から「3系7コース制」の教育訓練体制とし、ものづくりを支える各企業に優秀な人材を送り出しています。

修学年限

2年

1年次は専門分野の基礎を学び、2年次には専門性をより深めた技術・技能の習得。

入学定員

機械システム系	45人
電気・電子システム系	20人
建築システム系	15人

入学料

- 県内生：102,000円
- 県外生：169,200円

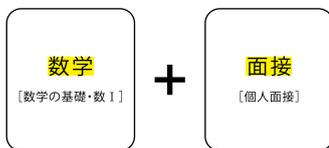
授業料

- 年額：390,000円

募集方法

推薦入試(前期募集・後期募集)、一般入試(前期募集・後期募集)に分けて募集し合格者を決定します。

試験内容



前年度の試験問題は、学生募集要項及びホームページに掲載しています。

学生募集要項

学生募集要項は、毎年6月末までに公表し、ホームページにも掲載します。

各系・コースの概要

機械システム系 P.11	デジタルメカエンジニアコース P.13	CAD/CAM/CAEに代表されるデジタル技術を駆使し、最先端の5軸加工機などによる精密数値制御加工ができるエンジニアの養成を目的としています。
	自動化システムエンジニアコース P.15	機械組立、シーケンス制御、モーター制御技術などを習得し、機械技術と電気電子技術を融合できるエンジニアの養成を目的としています。
	金型エンジニアコース P.17	プレス加工や射出成形加工の基礎技術を習得し、CAD/CAM/CAEによるプレス金型や射出成形金型の設計・製作ができるエンジニアの養成を目的としています。
電気・電子システム系 P.19	電気エンジニアコース P.21	工場内設備の電気設計や保守、配電盤・制御盤の設計・製作など工場内の電気全般に関わる業務やネットワーク化された設備の保守・管理まで行える情報技術に強い電気エンジニアの養成を目的としています。
	電子エンジニアコース P.23	電子回路の設計から基板製作、動作解析、評価まで、幅広い電子の知識とコンピュータ技術を使いこなしたものづくりができるエンジニアの養成を目的としています。
建築システム系 P.25	プランナーコース P.27	居住空間に関する企画・提案力を養い、基本設計から積算・見積及び実施設計までの一連の業務を行えるエンジニアの養成を目的としています。
	施工管理エンジニアコース P.29	各種施工法、測量、工程管理、品質管理、維持管理、耐震改修などの技術を習得し、安全で、効率的な施工管理を行えるエンジニアの養成を目的としています。

◎定員・訓練内容は、今後の情勢により変更することがあります。

受験資格

推薦(前期) ●高等学校を卒業見込みの者で出身の高等学校長が推薦する者

推薦(後期) ●高等学校長推薦/高等学校を卒業見込みの者で出身の高等学校長が推薦する者

●事業主推薦/次のいずれにも該当する者

①高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者

②大分県内の事業所に1年以上勤務する者

若しくは翌年3月末までに1年以上勤務することとなる者又は大分県に1年以上在住する者で大分県外の事業所に1年以上勤務する者若しくは翌年3月末までに1年以上勤務することとなる者

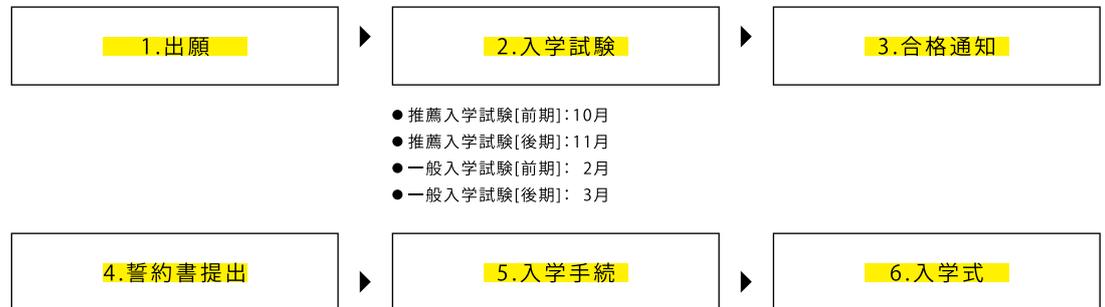
③翌年4月1日現在で満19歳以上の者

一般(共通) ●次のいずれかに該当する者

①高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者

②高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められる者かつ4月1日現在で満18歳以上の者

出願から入学式までの流れ



- 推薦入学試験[前期]: 10月
- 推薦入学試験[後期]: 11月
- 一般入学試験[前期]: 2月
- 一般入学試験[後期]: 3月

- 時期: 4月
- 場所: 大分県立工科短期大学校 講堂

募集要項など資料の請求については、下記にお問い合わせください。

大分県立工科短期大学校 学生支援班

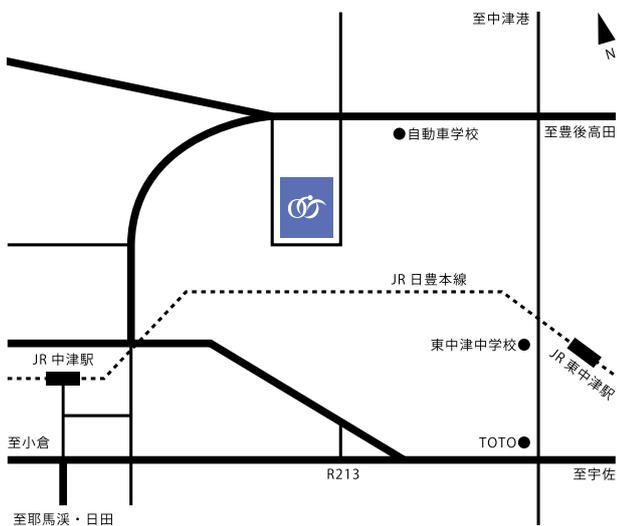
〒871-0006 大分県中津市東浜 407-27 TEL: 0979-23-5500 (代) FAX: 0979-23-7001 E-mail: ao@oita-it.ac.jp

学校見学は随時行っています。お気軽にご連絡ください。

さらに詳しい情報は本校ホームページをご覧ください。

大分県立工科短期大学校





OITA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

大分県立工科短期大学校

〒871-0006 大分県中津市東浜 407-27

TEL: 0979-23-5500 (代) FAX: 0979-23-7001

E-mail: ao@oita-it.ac.jp

ホームページアドレス: <https://www.oita-it.ac.jp/>



アクセス・交通機関

JRをご利用の場合

JR 中津駅からタクシーで約7分

JR 東中津駅からタクシーで約7分

自動車をご利用の場合

東九州自動車道“中津IC”から中津日田道路・県道23号中津高田線経由で約15分

Copyright 2018 OITA INSTITUTE OF TECHNOLOGY.

Printing in Japan 2018





OITA INSTITUTE OF TECHNOLOGY